

教科(科目)	福祉 (コミュニケーション技術)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	福祉科 2単位	教科書	コミュニケーション技術 (中央法規出版)
		副教材	レクリエーション (中央法規出版)
科目の目標	コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得させ介護福祉援助活動で活用する能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人を理解するための基本的なコミュニケーションの技法を習得させる。 ・保健・医療・福祉など他職種協働におけるコミュニケーションの在り方を扱い、チームケアのためのコミュニケーションの重要性を理解させる。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	第1章 介護におけるコミュニケーション	1 介護におけるコミュニケーションの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーション ・介護におけるコミュニケーションの役割 ・介護における生活支援とコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・「対人援助」演習 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実践におけるコミュニケーションの意義と役割を理解している。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・介護場面における生活介護とコミュニケーション ・利用者との関係づくり ・家族との関係づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・演習レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の理解と関係づくりについて考察している。 ・演習に積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。
中間考査 (内容把握, 介護におけるコミュニケーションの意義と役割)				
6	第2章 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	2 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・話を聴く技法 ・利用者の感情表現を察する技法 ・利用者の納得と同意を得る技法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聴く技法の基本を理解している。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・質問の技法 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・ディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なコミュニケーションの技法を理解し、ロールプレイすることができる。
期末考査 (内容把握, 基本的なコミュニケーションの技法)				
8	夏季休業	<ul style="list-style-type: none"> ※事例演習問題 ※ボランティア参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設等で利用者とのコミュニケーションをはかることができる。
10	第3章 利用者の特性に応じたコミュニケーション	1 コミュニケーション障害の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・基礎実習記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な利用者や介護場面を想定して理解している。 ・具体的な実習施設の利用者にあわせたコミュニケーションの方法を考える。
		2 コミュニケーション障害のある利用者への対応		
		3 利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際 <ul style="list-style-type: none"> *基礎実習 		
中間考査 (内容把握・事例問題)				

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	第3章 利用者 の特性に応じた コミュニケーション	4 様々な障害のある利用者とのコミュニケーション ・認知症の利用者 ・視覚障害者 ・肢体不自由者 ・精神障害をもつ人 ・知的障害をもつ人 ・難病をもつ人 ※近隣特別支援学校と交流学習	・ワークシート ・ロールプレイ ・レポート	・障害のある利用者とのコミュニケーションの基本について理解している。 ・様々な障害のある利用者とのコミュニケーションの演習に積極的に取り組んでいる。
1 2				
期末考査（内容把握、障害のある利用者とのコミュニケーションの方法理解）				
	冬季休業	・ボランティア学習	・レポート	・障害のある利用者とのコミュニケーションを積極的に図ることができる。
1 2	第4章 介護に おけるチームの コミュニケーション	1 記録による情報の共有化 ・記録の意義と目的 ・記録の種類・構成 ・記録の方法と留意点、管理 ・介護記録の書き方、IT活用 ・介護記録の活用 2 報告と申し送り ・報告 ・申し送り 3 会議 ・会議の持ち方の基本 ・会議の種類、チームカンファレンスの方法	・ワークシート ・観察・ワークシート	・保健・医療・福祉などの多職種協働におけるコミュニケーションのあり方を理解できている。 ・チームケアのためのコミュニケーションの重要性を認識できている。
3				
3	まとめ	まとめ 「コミュニケーション技術」を学んで *ディスカッション	・レポート ・KJ法	・介護におけるコミュニケーションの基本的な心構えを身につけている。
学年末考査（コミュニケーション技術のまとめ）				

評価の観点及び趣旨

①関心・意欲・態度

コミュニケーション技術に対する関心を持ち、介護福祉におけるコミュニケーションに向けた課題に意欲的に取り組み、人間尊重の精神に基づいた高齢者や障害者の自立支援を目指したコミュニケーションを行おうとする態度を身に付けている。

②思考・判断

高齢者や障害者に対する対人援助活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、コミュニケーションにおける基礎的・基本的な知識と技術を活用して利用者一人ひとりの個別ニーズを適切に判断し、ニーズに応じた介護実践を創意工夫する能力を身につけている。

③技能・表現

高齢者や障害者に対する対人コミュニケーションに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、介護福祉における一人ひとりのニーズに応じた的確な介護実践を計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。

④知識・理解

高齢者や障害者に対する対人援助コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、介護福祉におけるコミュニケーションの意義や役割を理解している。

「コミュニケーション技術」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	25 %程度	②思考・判断	20 %程度
③ 技能・表現	30 %程度	④知識・判断	25 %程度